

AIを活用した「無人茶摘み機」を開発 —茶摘みは人からロボットへ—

- 茶樹を各種のセンサで検知し操舵することで、ミリ単位の精度で茶摘み作業が可能。
- 自動で隣の茶うねに移動し、連続した茶摘み作業が可能。
- 茶摘み競技大会で、熟練農業者を上回る成績を達成。



無人茶摘み機



1人で2台の操作
約4年でコスト回収



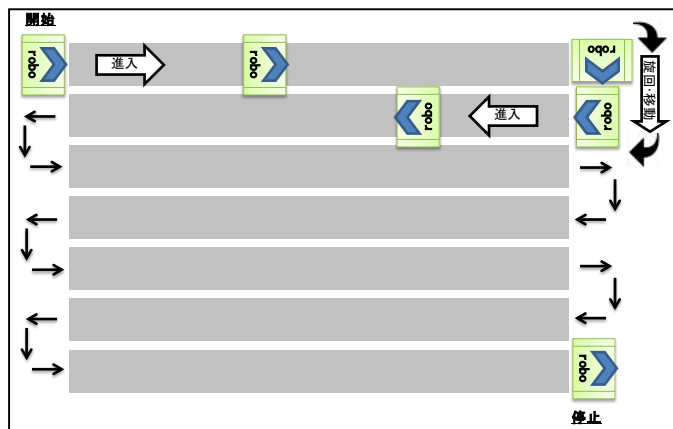
悪天候時の作業



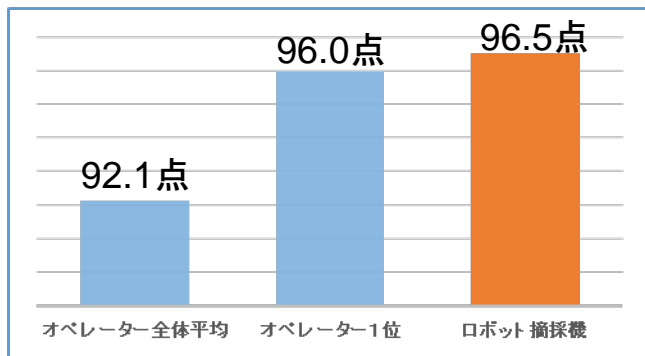
夜間も高精度



遠隔操作で機体に
乗らずに安全作業



無人茶摘み機の茶園内自動走行のイメージ



茶摘み競技大会での成績
※無人茶摘み機はオープン参加

導入により期待される効果

茶摘み作業の無人化による圃場労働の軽労化、転倒リスク軽減による農作業安全を促進。ロボット作業技術の確立で、複数台同時作業や降雨等悪条件下での作業による稼働効率向上等、新たな作業体系確立による国内茶業の競争力強化。